



# メディカル チェック



## 内科・泌尿器科

のはなし

早期発見・早期治療！  
泌尿器科の腫瘍の話／その83

### 『今年の漢字』、『新語・流行語大賞』と『日常診療や健診』の話

その第一回は、まさに『震』でした。2011年の東日本大震災の年は、人と人のつながりの大切さをあらためて感じた『絆』、2019年は新元号にちなんで『令』となりました。昨年は、皆さんご存知のとおり、やはりコロナ感染に関連した『密』の字が選ばれました。

また、『新語・流行語大賞』においても、『3密』が大賞に決まりました。先にお話ししたとおり、2011年の漢字『絆』が、その年の流行語トップテンの中にも入ったことはありましたが、『今年の漢字』と『流行語大賞』の両方が同じ文字となったのは、1995年に今年の漢字が始まって

以来、初めてのこととなります。それほど、この2020年は、国内はもとより、世界中すべてが『コロナ感染一色』に塗りつぶされた一年であったと言えるでしょう。そして、このような状況は、これからもしばらく続くことも考えられます。

この『密』という字には、『3密回避』と表される「密集」という意味のほかに、『親密』と表される、人と人の「関係が深い、親しい」という意味や、『綿密』と表される、「きめ細かい、細部にわたって行き届いている」という意味もあります。

皆さんと、常に『親密』にお付き合いできる医療機関として、『綿密』に感染対策を施し、『3密』を避ける環境を整え、通

常の診療のみならず、病気の早期発見・治療のための健診についても、安全に、かつ安心して受診していただけるよう、職員一同、日々、感染対策を徹底して行っております。

今年『2021年』は、昨年12月号でお話ししたとおり『辛丑』かのように様々な困難をみんなで協力して乗り越え、繁栄や成長の基礎を築く年とのことです。

そのような健康で素晴らしい一年となるよう、この大変な時期を、力を合わせて、頑張つて乗り越えて行きましょう！

2006年から始まりましたこの連載も、早いもので15回目のお正月を迎えました。本年もどうぞよろしく願いたいと思います。

流行語』についてお話ししたいと思いません。

日本漢字能力検定協会は、阪神・淡路大震災が発生した1995年から、その年の世相を表す漢字を全国公募して、12月12日の『漢字の日』に、京都の清水寺で『今年の漢字』として発表しています。

今回は『新型コロナウイルス感染症と癌に関する話』の3回目を予定しておりますが、毎年恒例の『今年の漢字』『新語・

流行語』については、12月12日の『漢字の日』に、京都の清水寺で『今年の漢字』として発表しています。

今年『2021年』は、昨年12月号でお話ししたとおり『辛丑』かのように様々な困難をみんなで協力して乗り越え、繁栄や成長の基礎を築く年とのことです。

皆さんと、常に『親密』にお付き合いできる医療機関として、『綿密』に感染対策を施し、『3密』を避ける環境を整え、通

北彩都病院 泌尿器科  
診断・治療センター長

医学博士、日本泌尿器科学会専門  
指導医、日本がん治療認定医  
徳光 正行

北彩都病院 宮下通9  
泌尿器科

永山腎泌尿器科 永山2ノフ  
クリニック  
0164-465500